



民生委員さん、
ありがとう

リポーター
中村菜々美さん

今回ご一緒して話を聞き、民生委員さんが赤ちゃんからお年寄りまで、地域の人から必要とされていることが分かりました。

また、学校や自治会と連携して、小学生の登下校の見守りも行っている民生委員さんもいると聞き、その活動範囲の広さに驚きました。

民生委員さんは縁の下の力持ちです。そしてその活動は、多くの人の笑顔と「ありがとう」に支えられていると感じました。



あなたの身近な
相談相手です。

狭山市民生委員・
児童委員協議会
会長 藤野美佐子さん

子育てや介護などで悩んでいませんか？

最近は核家族や高齢者のみの世帯が増えています。私たちは、地域で悩んでいる方が孤立しないようお手伝いや見守りをしています。

民生委員には「守秘義務」があり、相談内容が外に漏れることはありません。困ったことや聞いてみたいことがありましたら、どんなに小さなことでも安心して民生委員・児童委員にご相談ください。

問合せ 福祉政策課へ 内線1511

民生委員の主な役割

見守る

ひとり暮らしの高齢者や高齢者だけの世帯、生活上の問題を抱えている人、子育て世帯などを見守ります。
見守りは、誰もが地域で安心して暮らし続けられる基本となります。

支える

悩み事や心配事などを抱えている人に寄り添い、親身になって相談に乗ります。

つなぐ

援助が必要な人と、市や専門機関をつなぐ「パイプ役」となります。
また、社会福祉の制度やサービスについて情報提供を行い、問題解決のお手伝いをします。

民生委員のある日の活動

民生委員の活動は、多岐に渡りますが、あまり知られていないのが現状です。ここでは、民生委員の活動に同行した、広瀬にお住まいの中村さんのお話を紹介します。

初めに訪問したのは、2月に赤ちゃんが生まれたお宅です。「はじめまして、民生委員の堀部です」と笑顔であいさつを交わし、4カ月健診の案内を届ける堀部さん。
このときに、健診の説明をしたり、子育てに関する悩みなどがないかを聞いたりしていました。「いつでも構わないから、

遠慮しないで何でも言ってください」と堀部さんが声を掛けると、訪問されたお母さんも、相談相手ができ安心したようでした。
私にも3月に生まれた赤ちゃんがいるので、民生委員さんが来てくれると、とても安心できます。
次に訪問したのは、高齢のご夫婦のお宅です。堀部さんは「お変わりありませんか？」と声を掛けました。顔見知りの民生委員さんの訪問とあって、話も弾み、訪問している間、笑い声が絶えませんでした。
こうした見守り活動とは別に、市からの依頼で「高齢者調査」も行っています。この調査



では、75歳以上のみの世帯を毎年訪問し、緊急時の連絡先や健康状態などを確認しながら調査票を作成するのだそうです。



見守る・支える・つなぐ

民生委員・児童委員は

地域の身近な相談相手

皆さんは、民生委員・児童委員をご存知ですか。「名前は聞いたことがあるけれど...」「どんなことをしている人なの?」など、その活動はあまり知られていないのではないのでしょうか。
今月は、民生委員・児童委員(以下民生委員)の活動などをお知らせします。

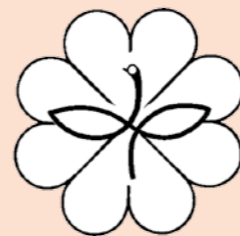
民生委員とは

今日、少子高齢化の急速な進展や核家族化などにより、地域のつながりが薄れているといわれています。
民生委員は、厚生労働大臣から委嘱を受けた、非常勤の地方公務員です。常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、「社会福祉の増進」に努めています。
現在、狭山市では各地

域から選出された241名の民生委員が、担当する区域の人たちの身近な相談役として、誰もが安心して暮らせる地域づくり日々取り組んでいます。

また、民生委員は、児童委員も兼ねています。児童委員は、地域の子どもたちが元気に安心して暮らせるように、子ども達を見守り、子育ての不安や妊娠中の心配ごとなどの相談・支援などを行います。
民生委員は、活動するときに顔写真入りの名札を着け、身分を明らかにしています。

民生委員・児童委員のマーク



幸せのめばえを示す四つ葉のクローバーをバックに、民生委員の「み」の文字と児童委員を示す双葉を組み合わせ、平和のシンボルの鳩をかたどって、愛情と奉仕を表しています。